



発行： 長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

小谷村の横川で山腹崩壊発生

5月10日に地元住民から通報があり、横川と姫川の合流点から約3.5km上流地点で大規模な山腹崩壊が発見されました。

翌日の11日には、当所及び小谷村、長野県、国土交通省、JR、警察等関係機関が合同で現地調査を実施したところ、崩壊した土砂が横川に流入して長さ210mの湛水池が出来ており、川幅は狭くなっていますが水は越流していることが確認されました。13日には国土交通省北陸地方整備局のヘリコプターによる上空からの調査を実施するとともに、土石流センサー、監視カメラ及び伸縮計を設置して引き続き監視を行っています。

なお、現在は、融雪による川の水量が減少し、湛水池も小さくなっています。

崩壊上部の様子



<ヘリコプターによる上空からの様子>



<天然ダムの様子>

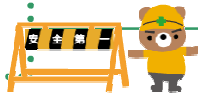


<天然ダム下流の様子>



← 5月29日現在の天然ダム下流の様子

土砂災害防止月間



6月は土砂災害防止月間です。

土石流やがけ崩れ、地すべり等の土砂災害は、時には一瞬のうちに尊い命や貴重な財産を奪ってしまいます。

雨が降り続くとき、強い雨のとき、川の水や湧き水が急に変化したり濁りだしたとき、土地に亀裂が入ったときなどは非常に危険です。

「危ないな」と思ったら早めに避難するとともに、役場建設水道課または当所へ連絡をお願いします。

- ◆ 白馬村建設水道課 72-5000
- ◆ 小谷村建設水道課 82-2001
- ◆ 姫川砂防事務所 82-3100

- 事業の情報等を共有 -

第1回小谷村と意見交換会

砂防事業等を円滑に進めるため、小谷村と当所による本年度第一回目の意見交換会を5月9日(水)小谷村役場にて行いました。

本年度実施予定箇所の事業内容、前年度繰越工事の進捗状況及び新たな事業要望等について当所から説明を行い、特に事業実施上の問題点や課題について、今後の解決に向けた対応方針などの確認を行いました。

また、引き続き現場に行き、住民からの要望箇所について、現地の状況等を小谷村役場職員から説明を受け、現地調査を行いました。

調査箇所のうち、小規模修繕の必要な箇所については、地域住民の要望に応え早急な対応を行い、安全で安心な地域づくりを行います。

(第2回)

シリーズ70周年 ～ 姫川砂防事務所管内の特徴と砂防事業 ～

○ 地形・地質編 … 今回は管内の地形や地質についてです。

美しく豊かな姫川流域、ふだんは穏やかな大自然もその裏には恐ろしい土砂災害や地すべりの脅威を隠しています。

管内(白馬村・小谷村)は姫川に沿って南北に糸魚川-静岡構造線が走る複雑な地形・地質をなしています。構造線の西側は、古生代と中生代の古期岩類からなる飛騨山脈で、花崗岩類、珪長岩、流紋岩及び蛇紋岩など火山岩が分布している急峻な山岳です。東側は北部フォッサマグナに属し、新生代新第三紀から第四紀更新世期のひん岩、安山岩及び流紋岩が貫入している新しい地層の山地です。また姫川中流域(北小谷周辺)では、西側の地質が姫川を越え分布し、姫川上流域(白馬盆地西側)では、フォッサマグナ側の新しい地層が飛騨山脈側の古期岩類上に不整合に載っています。

また、新生代第四紀の飛騨山脈側には白馬乗鞍、フォッサマグナ側には大渚山及び焼山といった火山の噴出物が、管内中央部(白馬盆地や姫川の谷)沿いには第四紀層が堆積しています。



事務所玄関前の蛇紋岩(左端)と流紋岩

6月・7月の主な行事

白馬村

- 7月13日(金)～9月2日(日)
- * 白馬岩岳ゆり園 開園
- 6月下旬～9月上旬
- * 白馬五竜高山植物園
- 7月21日(日)
- * 第15回白馬スノーハープクロスカントリー大会

小谷村

- 6月10日(日)
- * つがいけサイクル2012
- 6月23日(土)～7月1日(日)
- * 柵池自然園 水ばしょう祭り
- 6月30日(土)
- * 風吹岳夏山開き
- 7月1日(日)
- * 雨飾山夏山開き(大網側)

